

同志社大学

政策学部 政策学科

この学科で学ぶこと

女性の社会進出から核問題まで。日本や世界の将来に関わる「政策」の本質を政治、経済、法律、組織などさまざまな視点から実践的に学ぶことを目標としている。



大学情報

URL <https://www.doshisha.ac.jp/>
〒602-8580 京都市上京区
今出川通烏丸東入
TEL 075-251-3210 (入学センター 入学課)



資料請求

神学部	文学部	社会学部	法学部
経済学部	商学部	政策学部	文化情報学部
理工学部	生命医科学部	スポーツ健康科学部	心理学部
グローバルコミュニケーション学部	グローバル地域文化学部		



将来はロシア語を生かした職業に就きたい

将来はロシア語を生かした職業に就きたいと思っています。今、ロシア語を勉強しています。外交関係や資源を輸入している会社で貿易関係に従事する仕事を選択肢としてありますね。

藤田 周くん
政策学部 政策学科 4年 / 京都府立 嵯峨野高校卒



世界から日本中から多くの人が来る大学

同志社大学は学生数も多く、いろいろな人がいるのが魅力です。留学生も多く国際色が豊か。国内もいろいろな地方から来ているので、自分が知らなかったことをたくさん学べます。

高田 和暉くん
政策学部 政策学科 4年 / 大阪府立 茨木高校卒

Information 入試情報

一般選抜入試のポイント

2021年度入試において、入試制度や出題方針は従来通りで変更はありません。
〈入試制度〉
全学部日程と学部個別日程の2つの日程を設定し、すべて3教科で選抜します。同日課を利用すれば、同一学部・学科に2回挑戦できます。
〈入試問題〉
解答はマークシート方式ではなく記述式。誤字脱字に注意してわかりやすく書くことが重要です。
・問題は日ごとに異なりますが、両日程とも難易度や傾向に差はなく、学部ごとの対策は不要です。
※6月下旬より、大学紹介や入試説明、学部紹介の動画など、進学準備に役立つ情報を順次大学ホームページに公開していきます。ぜひご覧ください。



新町キャンパスの食堂の「チキン南蛮」がおすすめ。衣にタレがしみついて、ご飯が進みます。学生たちの人気メニューです。

私の学食オススメメニュー

藤田 周くん

本日の講義
4.23 (火)
at 新町キャンパス
10:45~12:15

国際政治学

この講義で学ぶこと

現在の国際政治は大きな過渡期にある。西欧国際システムを基本とするこれまでのアプローチでは不十分性が明らかになっていく。国際政治を理解するための新しいアプローチ、これまでの国際政治を構成してきた要因や歴史を学ぶ。

外国と歴史 二重の想像力を駆使する学問

国際政治史は間口の広い分野である。ウィーン会議と勢力均衡、第一次世界大戦や第二次世界大戦の開戦原因、冷戦の発生と変容。また、現在の国際政治に関わるグローバリゼーション研究、国連研究などもテーマとなる。さらには各国の対外政策史、海外の国内政治も含まれる。極論すれば、日本の国内政治・政策を除けば、ほとんどの研究テーマが対象となる。

「国際政治史は外国と歴史という二重の意味で想像力が必要です。高校の『世界史』『地理』のように暗記は必要ありません。何の次に何が起きたか、因果関係がわかればいい。大雑把な年表と世界地図が頭に入っているといいですね」と月村先生は話す。

「今、世界ではいろいろなことが起きています。西洋中心、国家中心だった考え方が崩れ、この先どうなるのか誰にもわからない。それを見据えるためにも、事象を整理する『海図』としてこの講義を使ってほしい。それが講義の狙いだ。この日の講義タイトルは「我々は今」

世界で起こっていることを整理し海図の役割となる「国際政治学」

つむむら 月村 太郎先生に聞きました

Q この講義は、10年後の社会でどのように役に立っていますか？

A 今、我々は大きな時代の切れ目にいます。新型コロナウイルスの流行も含め、世界のあちこちで何が起きていて、それをどう理解するのか。今世紀の前半くらいまでの動きを予想し、その先の指針を見つめる。この講義は国際社会の動きを整理するための海図として役立ちます。



Profile

東京都生まれ。麻布高校卒業。1983年東京大学法学部卒業。1988年まで東京大学法学部助手。サグレブ大学留学。財団法人・行政管理研究センター研究員、社団法人・川崎地方自治研究センター専任研究員を経て、1992年神戸大学法学部助教授、1996年教授。2000年神戸大学大学院法学研究科教授。2008年同志社大学政策学部教授。神戸大学名誉教授。著書に「民族紛争」(岩波新書2013年)、「ユゴ内戦-政治リーダーと民族主義」(東京大学出版会2006年)など。



国境を越えた活動の拡大 グローバル化の一例

講義はキーワードが記載されたプリントに沿って進む。例えば「グローバル化 (globalization)」。その動きについて「国境を越えたさまざまな活動の拡大」を一例に解説が始まる。「これから人、モノ、お金は国境を越え、どんどん動いていくでしょう。特にお金とモノは隙さえあれば、お金儲けのために国境を通り越して動く。国境からモノを出さないことはすごく大変で、それを一生懸命止めるのが国。今はそれを

記者の目 同志社大学はこんな大学

講義は新町キャンパスの大きな教室で行われました。月村先生は学生たちの理解が広がるよう、事象の背景にあるエピソードやご自身の海外での経験を交えながら講義を進めます。学生たちは真剣に聞き入り、聞き逃すことがないよう熱心にノートを取っていました。

※講義は2019年に取材したものです。